

K-ABC 中央事例研究会のご案内

初秋の時季となりました。会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、今年度第2回中央事例研究会のご案内をお送り致します。KABC-IIの検査結果の分析や解釈、支援への活用についての研修会です。今回は、申し込みは必要ございません。また、非会員の方も参加いただけます。ぜひご参加ください。

なお、本事例研究会で学校心理士更新ポイント B I のポイントを申請中です。

記

日時：2025年10月25日（土）14:30～16:30

場所：『アトラスタワー 茗荷谷』3階 図書文化社 301大会議室

発表者：玉川幸江先生（川崎市立公立小学校 通級指導教室）

テーマ：ことばの理解や表現、読み書きが苦手な小学校4年男児のアセスメントと支援
ー同時処理の強さを活かしてー

概要：通常学級に在籍している小学4年生の男児は、小学校入学後からひらがなやカタカナ、数字の読み書きに苦戦し、担任が介入しないと思いを伝えることが難しかった。3年生の4月より通級指導（言語）を開始し、「人が話していることの意味が難しい」「頭の中では考えているようだが、言葉や文字で表すことが難しい」「音読が苦手」「書字が苦手」といった主訴に対する指導方針を立てるため、KABC-IIを実施した。その結果、カウフマンモデルでは、全体的知的発達レベルが「低い」から「平均の下」の範囲に位置すること、検査の結果や背景情報から同時尺度が高いこと、また、認知総合尺度と習得総合尺度に差があり、本来の認知能力から期待される水準の基礎学力を獲得できていないことがわかった。そこで、本人の同時処理の強さを活かしながら、話の聞き取りの指導や表現の指導、読み書き指導などをおこなった。

参加費：会員（1000 円）・非会員（3000 円）いずれも当日会場でお支払いください。

※今回より参加費が変更になっております。

お問い合わせメールアドレス：事務局 soumu@k-abc.jp

※会場へのアクセス（地下鉄茗荷谷駅徒歩1分）

- ①茗荷谷駅改札を春日通り側に出る。
- ②茗荷谷駅を背に左側のベージュ色の高層ビルの3階です。（春日通りに面したビル）
- ③春日通り側から1F ローソン横の屋外エスカレーターまたは階段を上がり、屋内エレベーター（1 か所）で3階までお越し下さい。

日本 K-ABC アセスメント学会中央事例研究会担当：盛永 政和